



防犯灯のLED化で経費節減試算

みらいの会 舛井 文夫 議員

議員 取手市では、市内の防犯灯9700本を蛍光灯から発光ダイオードに一括交換し、10年間のリース契約に係る補正予算を12月議会に提案する。年間約2600万円の電気料のほか約1500万円の維持費が必要とされるが、リース契約にすると、試算では10年間で総額6200万円が節減される。本村では、そのような試算をしたのか。

経済環境部長 村内には、防犯灯が約2600基、街路灯が約6400基で合計約32400基あり、電気料金が約1540万円、修繕費が約510万円で合計約2050万円です。省エネルギー対策として平成18年度に策定した「地球温暖化対策地域推進計画」に基づき、平成19年度より水銀灯から省エネ効果の高いナトリウム灯に順次交換しましたが、現在は、LEDが省エネ効果が高いので、新規の防犯灯はLEDを設置している。

議員 何年間かで既存防犯灯・街路灯をLEDに交換するかなど、さまざまなケースを検討し、一番効果的で効果的な手法を検討します。貴重なご意見ありがとうございます。ごうございました。

議員 お礼の答弁がありました。私が質問する前に、皆さんが前向きに検討してほしいと思います。学校等を含め、全庁的に試算していただき、事務事業の見直しを含めて、お金がなくなってきたという話なので、それから、「最少の経費で最大の効果」を出すために、本当の叡智を出すことを要望します。

議員 平成24年度農業政策の取り組みについて伺います。

経済環境部長 新規就農者の育成、確保、農業振興の根幹をなす事業には十分に予算額を編成し、本村の農業振興に支障のないよう努めます。また、国、県の補助事業など本村の実情に合致するものについては積極的に取り入れます。

議員 自然栽培と称してまったく手入れをしない、作物の収穫量や販売額も問わない、無秩序ともいえる栽培方法に税金を投入して良いのか。周辺農家や地域農業への悪影響は計りしれないものがあります。本来環境保全型農業は、人手や経費を掛け、非常に手間ひまが必要で、出費も多い大変な農業です。食糧の自給率向上が叫ばれる中、少しでも収穫量を上げるべきです。

経済環境部長 議員ご指摘のとおり粗放栽培等を行うことで周辺農家や地域営農への悪影響が懸念される場合もあり、認定した県の機関と連携しながら適切な栽培管理について指導してまいります。

議員 農業の6次産業の取り組みについて伺います。

議員 域農業への悪影響は計りしれないものがあります。本来環境保全型農業は、人手や経費を掛け、非常に手間ひまが必要で、出費も多い大変な農業です。食糧の自給率向上が叫ばれる中、少しでも収穫量を上げるべきです。

議員 農業の6次産業の取り組みについて伺います。

議員 域農業への悪影響は計りしれないものがあります。本来環境保全型農業は、人手や経費を掛け、非常に手間ひまが必要で、出費も多い大変な農業です。食糧の自給率向上が叫ばれる中、少しでも収穫量を上げるべきです。

議員 域農業への悪影響は計りしれないものがあります。本来環境保全型農業は、人手や経費を掛け、非常に手間ひまが必要で、出費も多い大変な農業です。食糧の自給率向上が叫ばれる中、少しでも収穫量を上げるべきです。



農業政策

光風会 村上 孝 議員